

平成25年青森県工業統計調査結果書（概要版）

平成25年12月31日現在で実施した平成25年工業統計調査の青森県内の製造業分については、平成25年10月10日に速報を公表しておりますが、この度確報として、より詳細なデータを公表することとなり、「平成25年青森県の工業」として取りまとめました。概要は以下のとおりです。

【概要】

平成25年工業統計調査（従業者4人以上の事業所）による本県製造業は、製造品出荷額等が2年連続で増加したが、事業所数、従業員数及び粗付加価値額が前年に比べ減少した。

1 調査対象期間

平成25年1月1日から平成25年12月31日まで

2 調査の範囲

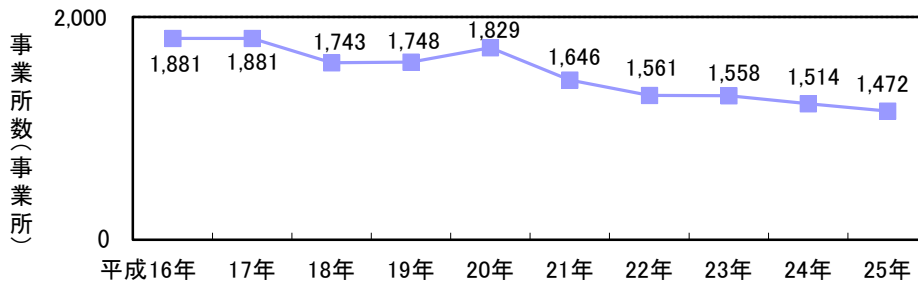
日本標準産業分類に掲げる大分類E—製造業に属する事業所(国に属する事業所及び従業者3人以下の事業所を除く。)を対象としている。

3 事業所数

事業所数は、1,472事業所で、前年に比べ42事業所の減少(前年比▲2.8%)となり、5年連続の減少となった。産業別では、電気機械(対前年増減数4事業所)、生産用機械(同4事業所)、プラスチック製品(同3事業所)など6業種で増加し、食料品(同▲12事業所)、電子部品(同▲11事業所)、繊維(同▲9事業所)など13業種で減少した。

市町村別では、横浜町(対前年増減数2事業所)、田子町(同2事業所)、三沢市(同1事業所)など6市町村で増加し、青森市(同▲12事業所)、十和田市(同▲6事業所)、五所川原市(同▲3事業所)など21市町村で減少した。

図1 事業所数の推移



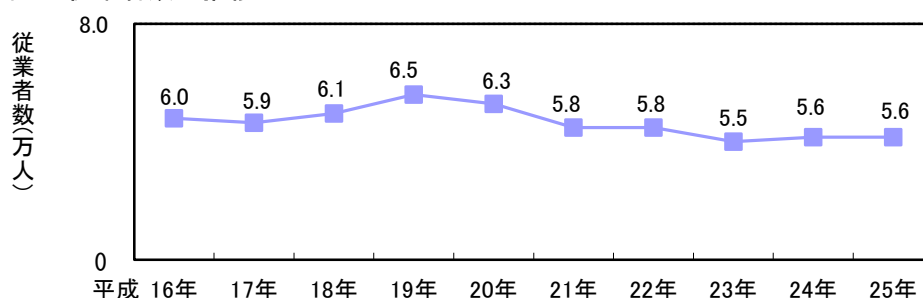
4 従業者数

従業員数は、55,647人で、前年に比べ390人の減少(前年比▲0.7%)となり、2年ぶりの減少となった。

産業別では、食料品(対前年増減数664人)、生産用機械(同196人)、業務用機械(同84人)など8業種で増加し、はん用機械(同▲542人)、情報通信(同▲379人)、飲料・飼料(同▲112人)など16業種で減少した。

市町村別では、三沢市(対前年増減数367人)、横浜町(同367人)、黒石市(同189人)など13市町村で増加し、十和田市(同▲281人)、八戸市(同▲266人)、青森市(同▲262人)など25市町村で減少した。

図2 従業者数の推移



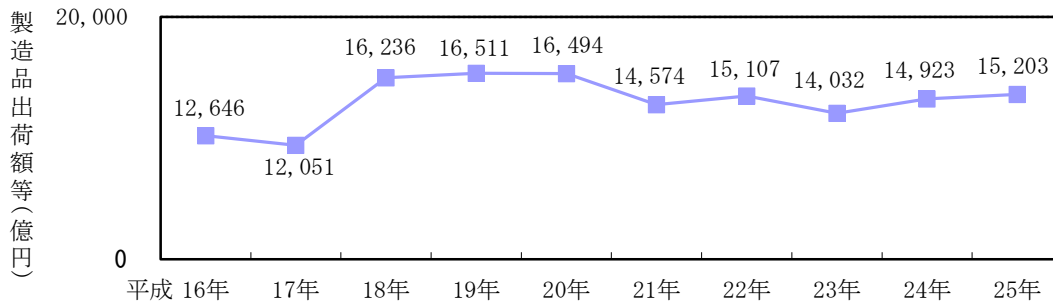
5 製造品出荷額等

製造品出荷額等は、1兆5,203億円で、前年に比べ280億円の増加（前年比1.9%）となり、2年連続の増加となった。

産業別では、食料品(対前年増減額399億円)、電子部品(同371億円)、化学(同22億円)など10業種で増加し、非鉄金属(同▲212億円)、はん用機械(同▲78億円)、生産用機械(同▲54億円)など14業種で減少した。

市町村別では、弘前市(対前年増減額166億円)、三沢市(同153億円)、三戸町(同115億円)など24市町村で増加し、八戸市(同▲213億円)、六ヶ所村(同▲212億円)、鶴田町(同▲20億円)など15市町村で減少した。

図3 製造品出荷額等の推移



注：平成19年調査から調査項目が追加されたことにより、平成18調査以前の数値と接続しない。

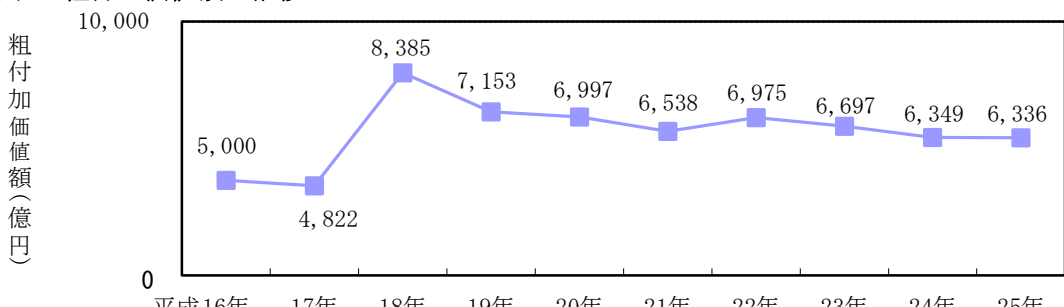
6 粗付加価値額

粗付加価値額は、6,336億円で、前年に比べ13億円の減少（前年比▲0.2%）となり、3年連続の減少となった。

産業別では、電子部品(対前年増減額125億円)、食料品(同42億円)、化学(同33億円)など11業種で増加し、鉄鋼(同▲61億円)、非鉄金属(同▲46億円)、輸送用機械(同▲41億円)など13業種で減少した。

市町村別では、弘前市(対前年増減額120億円)、三沢市(同47億円)、五所川原市(同18億円)など23市町村で増加し、八戸市(同▲138億円)、六ヶ所村(同▲68億円)、おいらせ町(同▲21億円)など16市町村で減少した。

図4 粗付加価値額の推移



注：平成19年調査から調査項目が追加されたことにより、平成18調査以前の数値と接続しない。

○主要項目の状況（従業者4人以上の事業所）

項目	平成24年	平成25年	対前年増減数	前年比
事業所数	1,514事業所	1,472事業所	▲ 42事業所	▲ 2.8%
従業者数	56,037人	55,647人	▲ 390人	▲ 0.7%
製造品出荷額等	149,234,703万円	152,029,755万円	2,795,052万円	1.9%
粗付加価値額	63,487,903万円	63,361,142万円	▲ 126,761万円	▲ 0.2%